

提供日 2019/3/15
タイトル 静岡県立大学の入学試験における出題ミスについて
担当 静岡県立大学法人 静岡県立大学
入試室
発信担当者 054-264-5007



静岡県立大学記者提供資料

平成 31 年 3 月 8 日（金）に、静岡県立大学において実施した「平成 31 年度一般入試公立大学中期日程薬学部個別学力検査」及び「平成 31 年度私費外国人留学生入試薬学部」の「化学基礎・化学」の問題に、出題ミスがあったことが判明しました。

当該設問を全員正解として扱い、得点を与えた上で、合否判定を行うこととします。

なお、本日、本学ホームページにて今回の出題ミスについての説明及び謝罪文を掲載します。

1 出題ミスの概要

(1) 選抜区分、試験実施日及び合格発表日

選抜区分 平成 31 年度 一般入試公立大学中期日程 薬学部 個別学力検査
平成 31 年度私費外国人留学生入試 薬学部
試験実施日 平成 31 年 3 月 8 日（金）
合格発表日 平成 31 年 3 月 21 日（木）

(2) 試験科目名

「化学基礎・化学」

(3) 選抜方法

◆平成 31 年度 一般入試公立大学中期日程 薬学部

大学入試センター試験（配点合計 1150 点）の成績、個別学力検査（物理基礎・物理 400 点、化学基礎・化学 600 点、合計 1000 点）の成績及び調査書の内容を総合的に判断して選抜

◆平成 31 年度私費外国人留学生入試 薬学部

出願書類、日本留学試験、TOEFL 又は TOEIC、本学が実施する学力検査（物理基礎・物理 400 点、化学基礎・化学 600 点、合計 1000 点）及び面接の成績結果を総合して選抜

(4) 当該選抜区分の募集人員及び受験者数

◆平成 31 年度 一般入試公立大学中期日程 薬学部

薬科学科	募集人員 26 人	受験者数 214 人
薬学科	募集人員 54 人	受験者数 471 人
合計	80 人	685 人

◆平成 31 年度私費外国人留学生入試 薬学部

薬学科	募集人員 若干名	受験者数 4 人	※薬科学科受験者数 0 人
-----	----------	----------	---------------

(5) ミスの内容

大問 4 のうち、完全燃焼による反応前と反応後の物質質量の変化から分子式を求めさせる問題（問 2）及びその分子式を用いて解答する問題（問 3～問 6）の前提となる実験 2 の説明文において、「容器内のすべての物質の物質質量の総和」とすべきところを、「容器内のすべての化合物の物質質量の総和」としたため、正答を導き出せない出題となりました。

(6) ミスの発見状況

平成 31 年 3 月 12 日（火）から 13 日（水）にかけて受験生及び外部機関から問い合わせ等があり、点検・検証の結果、出題ミスであることが判明しました。

(7) 対応

この問題の正否が合否に影響しないように配慮し、当該設問を全員正解として扱い、得点（配点 120 点）を与えた上で合否判定を行います。

(8) 当該問題 (大問4 問 2 ~ 問 6)

4 化合物 A, B, C, D は同じ分子式 C_xH_yO で表されるアルコールである。次の文章を読み、設問に答えよ。構造式は例にならって記せ。

実験 1 A を硫酸酸性の二クロム酸カリウム水溶液とおだやかに反応させると E が得られた。E にヨウ素と水酸化ナトリウム水溶液を反応させると、黄色沈殿 F が生じた。

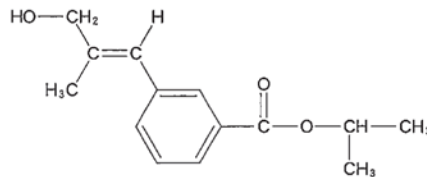
実験 2 真空の容器に、実験 1 で得られた E と十分量の酸素を入れ、容器を閉じ、完全燃焼させた。完全燃焼後、容器内のすべての化合物の物質量の総和は、反応した E の物質量の 2 倍だけ増加した。また、容器内に発生した二酸化炭素と水の物質量の比は、1 : 1 であった。

実験 3 B を硫酸酸性の二クロム酸カリウム水溶液とおだやかに反応させると G が得られた。G はアンモニア性硝酸銀水溶液から銀を析出させた。また、G は不斉炭素原子を有していた。

実験 4 C を硫酸酸性の二クロム酸カリウム水溶液とおだやかに反応させると H が得られた。H はアンモニア性硝酸銀水溶液と反応せず、またヨウ素と水酸化ナトリウム水溶液を反応させても実験 1 の黄色沈殿 F は生じなかった。

実験 5 D は、硫酸酸性の二クロム酸カリウム水溶液と反応しなかった。また、D に濃硫酸を加えて 170℃ で加熱すると、炭化水素が 2 種類生じた。

例



問 1 下線部(ア)の反応に関して、化合物 E の完全燃焼の化学反応式を、x, y を用いて記せ。

問 2 実験 2 の結果から、化合物 E の分子式を、解法とともに答えよ。

問 3 化合物 A の構造式として適切なものをすべて記せ。また、不斉炭素原子がある場合は不斉炭素原子に * 印をつけよ。

問 4 化合物 B, C の構造式を記せ。また、不斉炭素原子がある場合は不斉炭素原子に * 印をつけよ。

問 5 下線部(イ)の化学反応式を、G の構造式も示しつつ記せ。また、G の不斉炭素原子に * 印をつけよ。

問 6 下線部(ウ)にあてはまる化合物の構造式を 2 つ記せ。

2 原因と再発防止策等

問題作成にあたって用語の確認が十分ではなくミスにつながりました。今後、入試調査委員会を設置し、ミスに至った原因の調査をするとともに、静岡県立大学入試問題点検マニュアルの改善を図るなど、再発防止策の強化を進めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 学生部入試室

電話 054-264-5007